学校番号	302

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説日本史　改訂版」（山川出版社）						
副教材等	「新詳日本史」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象の意味・内容・起点・推移・背景などを総合的に考察する。
・我が国の伝統と文化についての認識を深める。
・歴史的事象と現在との結びつきを考え、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気づく。
・アジアをはじめとする諸外国との関係を知り、国際関係の変遷と重要性に気づく。

2　学習の到達目標

・様々な史料に触れ、歴史的思考力を培う。
・グラフや地図などの資料を活用し、論理的な考察ができる。
・歴史的事実を多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力を育成する。
・世界の歴史や地理的条件と関連づけ、現代の諸課題に着目して考察し、国際社会に主体的に生きる力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の歴史、伝統、文化について認識を深めようとしているか、また世界の歴史や地理的条件と関連づけて歴史的事象を理解しようとしているかどうか。	授業で理解し、得た知識を総合的に捉え、他者に対し論理的に説明できるか。様々な歴史的事象を客観的な視点で理解し、適切に表現できているかどうか。	資料やグラフ等の読み取り、また様々な歴史的事象を多面的、総合的に捉えて、論理的に考察できるか。	様々な歴史的事実を背景・経過・意義を含めて総合的に理解できているかどうか。また、それぞれの知識を有機的に結合できているかどうか。
評価方法	授業板書ノート ワークプリント	定期考査 授業板書ノート ワークプリント	定期考査 授業板書ノート ワークプリント	定期考査 授業板書ノート ワークプリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	日本文化のあけぼの	・文化のはじまり ・貴族社会の成立 ・古墳とヤマト政権	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	a:考古学上の様々な発見から、この時代に興味・関心を持つことができたか。 b:黒曜石などの考古資料を提示し、当時の社会・文化について考察できたか。 c:『魏志』倭人伝など文献資料を読み解くことができたか。 d:自然環境や大陸との影響に着目して、文化の発展を理解することができたか。	授業板書 ノート ワークプリント
前期	律令国家の形成	・飛鳥の朝廷 ・律令国家への道 ・平城京の時代 ・天平文化 ・平安王朝の形成	○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:統一国家誕生における仏教の役割について、関心を持って考察することができたか。 b:仏像などの写真を見ることによって、佛教の受容や大陸との交流を考察できたか。 c:文献資料を基に、墾田永年私財法にみられる公地公民制の崩れなど考察できたか。 d:律令制度とその問題点、体制の崩壊を理解できたか。	授業板書 ノート ワークプリント
前期	貴族政治と国風文化の成立	・摂関政治 ・国風文化 ・地方政治の展開と武士		○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	b:藤原北家が権力を掌握していく過程を理解し、律令体制の変容の観点から摂関政治を考察できたか。 c:文献資料を活用し国司の支配の変容など地方支配の状況を考察できたか。 d:国文学の発達に着目して、貴族の生活・文化を理解できたか。	授業板書 ノート ワークプリント
前期	中世社会の成立	・院政と平氏の台頭 ・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化	 ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:絵画資料に着目して、武士の生活・文化を考察できたか。 b:幕府と朝廷の二元的支配構造について考察できたか。 c:この時代の文学・絵巻物・彫刻の特徴を読み解けたか。 d:封建制度の成立について理解できたか。	授業板書 ノート ワークプリント

後期	武家社会の成長	・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:絵画資料に着目して、経済の発展による庶民生活の向上を考察できたか。 b:南北朝の動乱以後の大きな社会変動について考察できたか。 c:文献資料を読み解き、惣村の形成など庶民による自治的な組織の成立に着目できたか。 d:南北朝・北山・東山文化について理解できたか。	授業板書 ノート ワークプリント
後期	幕藩体制の確立	・織豊政権 ・桃山文化 ・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:織豊政権の特色と意義について考察できたか。 b:ヨーロッパ世界との接触とその影響について考察できたか。 c:文献資料を読み解き、信長・秀吉・家康の統一過程を考察できたか。 d:幕藩体制下の支配体制、封建的身分秩序の形成などを理解できたか。	授業板書 ノート ワークプリント
後期	幕藩体制の展開	・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化	○ 	○ ○ 	 ○	○ ○ ○	a:江戸幕府の巧みな管理政策について、多角的にとらえることができたか。 b:農業技術の進歩に伴う諸産業の展開を考察できたか。 c:経済の発展と、町人文化の形成との関連を理解できたか。 d:文治政治への転換から正徳の政治まで、幕政が安定していく課程を理解できたか。	ワークプリント
後期	幕藩体制の動揺	・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化	○ ○ 	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:諸藩の財政再建から雄藩の出現過程を考察できたか。 b:列強の接近に伴う諸事件と改革の失敗から、幕府の衰退を考察することができたか。 c:学問の確立、教育の普及を、幕藩体制の動揺と関連づけて考察できたか。 d:百姓一揆、打ちこわしの頻発などに着目して、幕藩体制の動揺を理解できたか。	授業板書 ノート ワークプリント

後期	近代国家の成立	・開国と幕末の動乱 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立と日清戦争 ・日露戦争と国際関係 ・近代産業の発展 ・近代文化の発達	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:明治初期の外交政策について、多角的にとらえることができたか。 b: 倒幕の動きと、明治政府が中央集権体制を構築していく課程を考察できたか。 c:伝統的な文化のうえに欧米文化を摂取し成立した近代文化の特色について考察できたか。 d: 戦前の立憲制のしくみを理解できたか。	授業板書 ノート ワークプリント
後期	二つの世界大戦とアジア	・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制 ・市民生活の変容と大衆文化 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:大衆文化の成立と社会風潮とを、関連付けて考察することができたか。 b:普選運動などに着目して、政党政治の成立を考察できたか。 c:戦時下の経済と国民生活・文化の特色について、様々な角度から考察できたか。 d: 軍部の台頭から大戦へのあゆみを理解できたか。	授業板書 ノート ワークプリント
後期	占領下の日本	・占領と改革 ・冷戦の開始と講和	○ ○	○ ○	○ 	○ ○	a:ＧＨＱによる諸政策が、日本国民の戦争に対する反省に支えられ、実施されたことに気づけたか。 b:国際関係の変化により、占領政策が転換されたことを考察できたか。 c:日本国憲法が制定された経緯と意味を、国民生活の状況も踏まえて考察できたか。 d:日本の主権回復の意義と、日米安保条約の締結の意味を理解できたか。	ワークプリント

後期	高度成長の時代	・55 年体制 ・経済復興から高度成長へ	 ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:消費革命による社会の変貌と経済成長がもたらしたひずみ（社会問題）について着目できたか。 b:冷戦構造の変化と国際関係との関連を考察できたか。 c:様々な資料から経済成長と諸問題に着目できたか。 d:経済の国際化と国内の技術革新に着目して、高度経済成長を理解できたか。	ワークプリント
後期	激動する世界と日本	・経済大国への道 ・冷戦の終結と日本社会の変容	○ ○	○ ○		○ ○	a:ドル＝ショックや石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた過程を知ることができたか。 b: これからの日本の課題とそれに対応する日本の役割を考察できたか。 d: 冷戦終結後の政治・経済状況について理解できたか。	ワークプリント

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。